

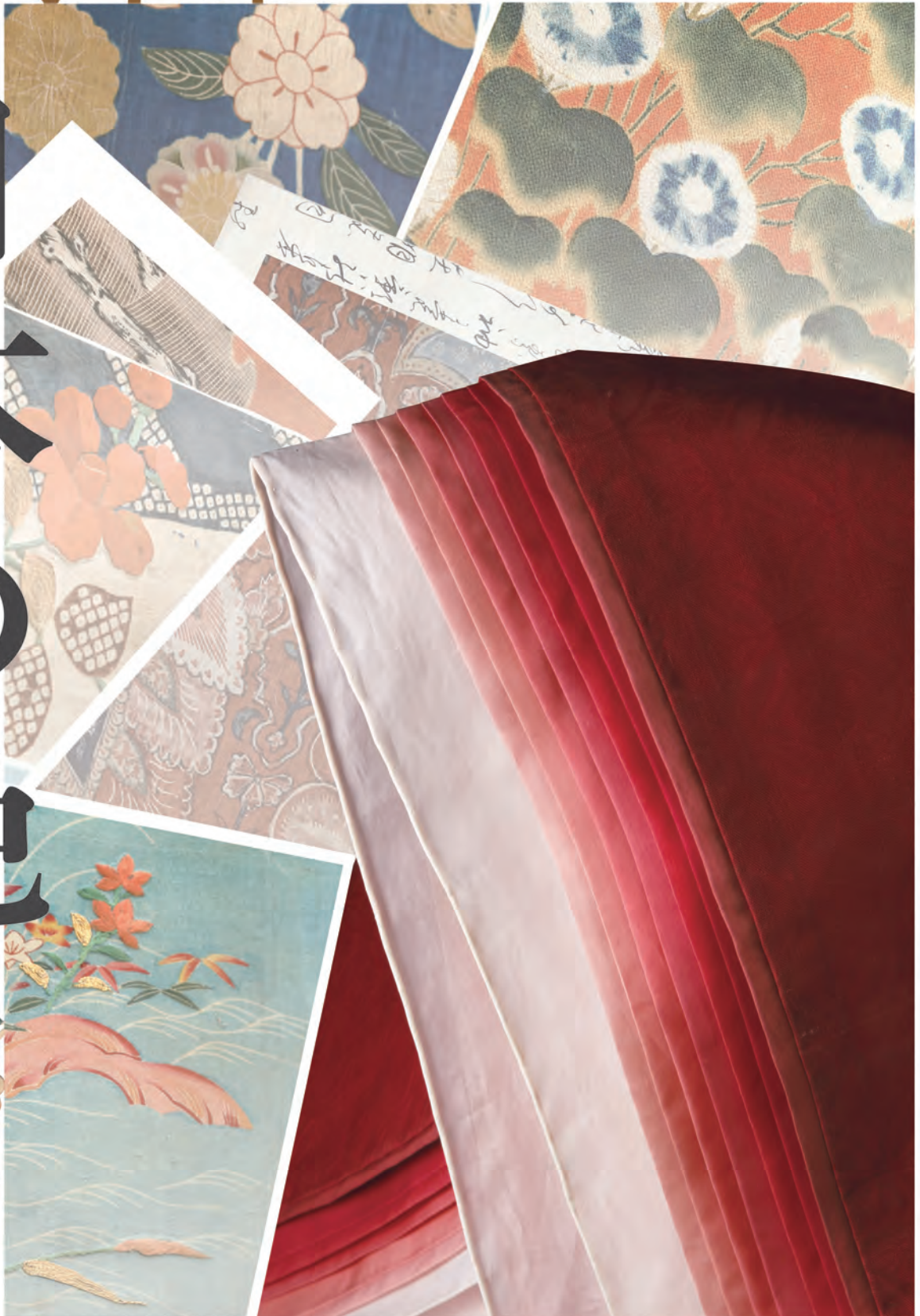
吉岡幸雄 の仕事と蒐集

細見美術館

In Search of Colours of Japan
from Works and Collection of YOSHIOKA Sachio

特別展

日本の色



源氏物語 蘇芳のかさね 袖/古代印度更紗(赤星家旧蔵)/古裂粘(旧野村コレクション)(全て部分)

2021年 1月5日|火|~4月11日|日|

前期 1月5日|火|~2月21日|日| 後期 2月23日|火・祝|~4月11日|日|

開館時間=午前10時~午後5時(入館は午後4時30分まで) 休館日=毎週月曜日(祝日の場合、翌火曜日) 入館料=一般 1,400円 学生 1,100円

会場=細見美術館 京都市左京区岡崎最勝寺町6-3 <http://www.emuseum.or.jp>

主催=細見美術館 染司よしおか 京都新聞 特別協力=紫紅社 監修=河上繁樹氏(関西学院大学教授) 協力=ニューカラー写真印刷株式会社

後援=NHK 京都放送局

感染拡大等状況の変化により、止むを得ず美術館および館内施設の開館・営業日時等を変更する場合があります。詳しくはホームページをご覧ください。



特別展

日本の色

吉岡幸雄の仕事と蒐集

2021年 1月5日(火)～4月11日(日) | 前期 1月5日(火)～2月21日(日) | 後期 2月23日(火)～4月11日(日)

本展は、昨秋、急逝した染織史家・吉岡幸雄を追悼し、その遺業を回顧する没後初の展覧会です。

吉岡幸雄は、京都で江戸時代から続く染色工房の五代目当主であり、染織史の研究者でもありました。吉岡は古来の文献をひもとき、伝世の染織遺品をはじめ古今東西の美術工芸を学んで伝統の色彩を求めました。各地に伝わる染料・素材・技術を訪ねて、その保存と復興に努め、社寺の祭祀、古典文学などにみる色彩や装束の再現・復元にも力を尽くしました。

展覧会では、吉岡幸雄の美への憧憬と本質を見極める眼、そしてあくなき探求心によって成し遂げられた仕事と蒐集の軌跡を紹介します。



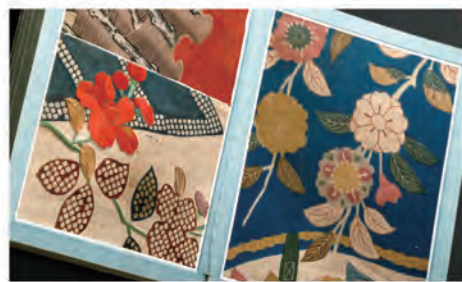
源氏物語 蘇芳のかさね



源氏物語 滯標



古代印度更紗(赤星家旧蔵)



古裂帖(旧野村コレクション)



東大寺 伎楽装束 呉公(部分)



石清水八幡宮 供花神饌 紅葉



石清水八幡宮 供花神饌 杜若

吉岡幸雄



昭和21年、京都市生まれ。昭和48年、図書出版「紫紅社」を設立。美術工芸の雑誌・全集・豪華本などを編集・出版。CM制作、美術展覧会の企画にも携わる。昭和63年、生家「染司よしおか」五代目当主を嗣ぐ。平成3～5年、薬師寺三蔵院の幡、薬師寺「玄装三蔵会大祭」の伎楽装束、東大寺の伎楽装束を制作。平成20年、源氏物語の色五十四帖を再現。平成21年、京都府文化賞功労賞受賞。平成22年、菊池寛賞受賞。平成24年、NHK放送文化賞受賞。令和元年9月、出張講演先に急逝。

主な著書：『日本の色辞典』・『源氏物語の色辞典』・『王朝のかさね色辞典』（紫紅社）、『吉岡幸雄の色百話 男達の色彩』（世界文化社）など多数。

◇友の会「古今」限定 観覧DAY

※会員無料・事前申込制

日時：3月6日(土) 午前9時30分～

【交通のご案内】

- 市バス「東山二条・岡崎公園口」下車、徒歩3分。
 - 市バス「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車、徒歩5分。
 - 地下鉄東西線「東山」駅下車、徒歩10分。
- ご来館には公共交通機関をご利用ください。

京都市左京区岡崎最勝寺町6-3

TEL 075-752-5555

<http://www.emuseum.or.jp>

細見美術館



関連イベント

※詳しくはホームページをご覧ください。

◇特別展示 at 茶室 古香庵 ※入場無料

日時：1月15日(金)～17日(日) 午前10時30分～午後3時30分

◇スペシャルトーク at 茶室 古香庵 ※有料・事前申込制

「染司よしおか当主が語る、日本の色の魅力」

日時：2月27日(土) 午後2時～

講師：吉岡更紗氏(染司よしおか 六代目当主)

◇見どころトーク ※聴講無料。ただし別途入館料が必要・事前申込制

日時：3月13日(土) 午後4時～

講師：吉岡更紗氏(染司よしおか 六代目当主)

定員：10名(トーク後、自由観覧)

次回展予告

細見古香庵生誕120年記念展 I・II
2021年4月20日(火)～9月5日(日)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ご入館および施設のご利用にあたってはマスクをご着用ください。

また、急激な状況の変化により、止むを得ず開館・営業日時等を変更する場合があります。詳しくはホームページをご覧ください。

